

記録的大雪による『白銀の産山』！ うぶやま

広報
UBUYAMA



2月13日(木)から降り続いた記録的大雪により、村内の各地で車が動けなくなり、通勤・通学などの混乱を招きました。また、雪の重みにより農業用ハウスや鶏舎が倒壊するなど、大きな被害を残しました。

3月
No.535
2014(平成26年)

第17回大草原のうさぎ追い in うぶやま

2月1日（土）に、第17回「大草原のうさぎ追い in うぶやま」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、村内外から多くの方々にお越し頂き、土曜塾で参加した村内の子どもたちを含む約110名の参加者の皆さんとともに「うさぎ追い」を行いました。

開会式が終わると、今年も昨年同様にうさぎを捕まえるため、参加者の方々と念入りな作戦会議を行って、草原へと向かいました。網隊として地元の獣友会や役場スタッフが息を潜めて待ちかまえる中、一般参加者たちで構成される勢子隊の隊長の山室健一さん（株式会社うぶやま）の合図で、勢子隊は「ちょーい！ちょい！ちょい！」と一斉に大声をあげて、草原を棒で叩きながら駆けていきました。

すると、草原の中から「ガサガサ！」とうさぎが駆ける音が聞こえ、なんと3羽のうさぎが現れ、2羽のうさぎには網をかわされ逃げられましたが、1羽は見事に捕まえることに成功しました！

うさぎ追いが終わると、参加者たちは昼食会場であるうぶやま牧場のガラスハウスに戻り、株式会社うぶやまに準備して頂いた料理を楽しみました。また、昼食後には本村の特産品が当たる「お楽しみ抽選会」も行われ、こちらも大いに盛り上りました。最後に、捕まえたうさぎを草原へと帰し、うさぎ追いは終了しました。

今回のイベント開催にあたり、ご協力を頂きました株式会社うぶやまはじめ、獣友会の皆様、関係者の皆様方に心から御礼申し上げます。



初めて見る野うさぎに興味津々！



捕まえたうさぎを前に記念写真！

「大野川上流地域（大蘇ダム関連）」の農業振興に関する陳情について

平成26年1月30日（木）、大野川上流の農業振興並びに大蘇ダムの早期完成を要望するため、産山村長・竹田市長・阿蘇市長の2市1村の首長で九州農政局長室を訪問しました。今回は、大蘇ダムの受益地区に対する農業振興政策の拡充と大蘇ダムの早期完了についての陳情を行なうとともに、①中間管理機構を利用した農地の集約と企業参入の推進モデル地区として構築すること ②施設園芸の推進のため補助率の嵩上げや担い手農業機械の導入補助の緩和 ③ダム維持管理負担の軽減とダムの国営直轄管理・自然エネルギー事業の導入等の3点を柱に協議し、農政局長に要望しました。



広報うぶやま 平成26年3月号

二日間降り続いた記録的大雪

2月13日（木）の夜から低気圧の影響により降り続いた雪は、記録的大雪となりました。積雪の深さは40cmから50cmを観測し、うぶやま保育園や産山小・中学校は休園・休校、産交バスも運行を見合わせるなど、本村にも大きな被害を受けました。そこで、今月号ではこの大雪による被害状況をお伝えします。また、今回の大雪による道路等の除雪にご協力を頂きました村内の建設業者等の皆様、誠にありがとうございました。

○産山村の被害状況（※2月20日現在）

被害物件	被害棟数	被害金額
園芸用ハウス	46棟	35,156千円
その他ハウス（育苗・倉庫等）	29棟	17,792千円
鶏舎	11棟	35,172千円
計	86棟	88,120千円



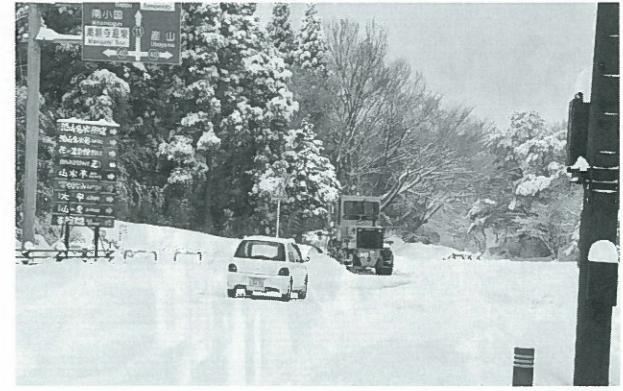
雪の重みにより倒壊した鶏舎の様子



雪が止んだ後もその重みでハウス等の被害が相次ぎました



大雪により産山・波野分駐所も出動しました



幹線道路の早期復旧のため建設業者の皆様も大忙し！



道路や庭先の雪かきに追われる村民の方々



南部地区では50cmを超えました！

広報うぶやま 平成26年3月号

今月のわくわくキッズは1月30日(木)に産山保育園で行われました。産山中9年生の家庭科授業の保育実習の様子をお伝えします。最初、福海副園長よりお話を聞きした後、15名が4班に分かれて、うめ・ゆり・きく・さくら組にそれぞれ振り分けられました。

生徒たちは事前学習で準備した保育プログラムに従って、自作した教材(折り紙、ゲーム、体育遊び等)を使って精一杯子どもたちを相手にがんばっていました。



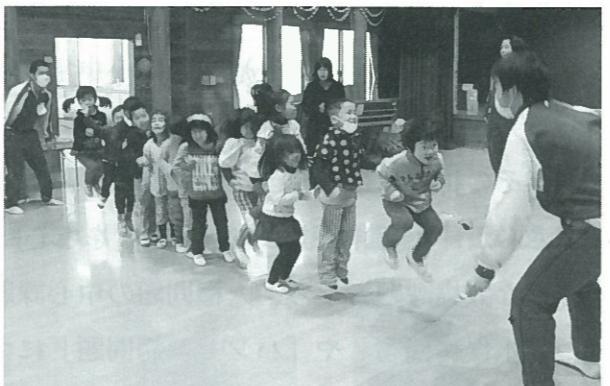
福海副園長の話を聞く産中9年生



うめ組の給食指導



手作り布野菜でクイズ



ホールで大縄飛びをするさくら組

●園児がとてもパワフルで保育士の大変さを学びました。私は将来保育士になりたいと考えています。理由は子どもが好きだからです。だから、このような体験ができて本当に良かったと思っています。私が保育士になったら、先生方のように子どもたちに好かれる保育士になりたいです。ありがとうございました。(9年 女子)

生徒たちの感想を読んでいると、園児たちに接して指導することの難しさが多く語られています。本当に自分の「生き方」としてのキャリア教育であることを実感しました。

むらのわだい

福祉サービス「ほっと館」です



産山村大利657-2
tel0967-25-2233
fax0967-25-2281

毎年恒例の豆まきを行いました。職員が鬼に変装して、利用者の方々が袋に入った豆を袋ごと鬼に投げつけていました。一生懸命鬼に投げる方、投げずに袋を開けて食べるのに専念する方など様々でした。



A



B



C

ほっと館の浴室紹介



ほっと館には浴槽が三種類あります。ご利用者の状態や希望を聞いて入浴される浴槽を決めています。写真Aは個浴風呂です。一人でゆっくり入りたい方、お湯の温度にこだわりがある方が利用されています。写真Bは大風呂です。大人5人程度ならゆっくり入浴できる大きさです。知り合いと楽しく入りたい方などが利用され、まれに泳がれる方がいますので、それはさすがに泳ぐのはやめてもらっています。写真Cは特殊浴槽です。浴槽内でバランスがとれない方や歩行ができない方など座ったまま入れる浴槽です。

入浴はリハビリも兼ねていますので、できる限り自分で体を動かしていただいているが、万一を考えて介護職員・看護職員が付き添っていますので、安心して入浴できます。また、ほっと館では入浴介助は同性介助(女性利用者には女性職員が介助)を行っています。

安心・安全に入浴ができますので、自宅での入浴が難しい方など、ほっと館の介護支援専門員にぜひご相談下さい。

命を守る3つの習慣

- 寝たばこは、絶対しない
- ストーブの付近に燃える物を置かない
- コンロのそばを離れると火は、必ず火を消す

全国春の火災予防運動

3月1日から3月7日までの全国火災予防運動が実施されます。火を取り扱う機会が多くなると同時に空気も乾燥しております。火災が発生しやすくなっています。今年に入つてから火災が多発していますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

分駐所だより
産山波野分駐所

●お問い合わせ・連絡先
阿蘇広域消防本部
0967・34・0024
産山波野分駐所 24・27666

野焼きについて

今年も野焼きのシーズンとなりました。通りがかりの人や観光客の方が、野焼きの炎や煙を見て火事だと思い消防署に通報されることがあります。野焼き・防火線焼き・田畠の畦の焼却等の際には事前に消防署まで連絡をお願いします。(日時、場所、代表者名、携帯電話番号などをお伺いします。)また、個人で田畠の畦などの焼却の際は消防用の水や道具を用意などは極力避けて下さい。火をつけた後も最後まで消えるのを確認して帰ります。

本のへやから

新しい本が入りました！

3月の図書室開放日
第4土曜日の22日（土）
10:00～15:00

今日は新しい本が入りました。とは言っても大きな図書館のようにたくさんの本を揃えることはできないので、数に限りがあります。昨年亡くなった山崎豊子氏ややなせたかし氏の遺作や「シルバー川柳」など話題になっている本、育児や介護を応援する本など、きっと誰かに手に取ってもらえることを願いつつ選びました。また利用者の方からお薦め頂いた本なども入っています。

「こんな本があったらいいな」というお声を気軽にお寄せ下さい。もっともっと村民の皆様の身近な図書室となつて行きたいと思います。

人権啓発シリーズ No.106 『人権課題を知ろう』 －心豊かに生きるために－

お世話になりました。（平成25年度終了）

鮮やかな黄色の水仙やレンギョウの花に季節の移ろいを感じる頃となりました。皆様には一年間人権についてのお知らせを読んで頂きありがとうございました。25年度は次のような内容でしたが、皆様方に参考になるような内容が少しでもあったのであれば、嬉しく思います。

- 4月—「人権感覚って何ですか」（桑原 律さんの詩）
- 5月—基本的人権と同和問題
- 6月—「ハンセン病」について、どう思われますか
- 7月—自分や他の人の良さを積極的に見つけましょう
- 8月—産山村人権同和教育推進協議会総会・研修会の報告
- 9月—阿蘇郡人権同和教育研究大会の報告
- 10月—水俣病についてどう考えておられますか
- 11月—掲載なし
- 12月—一人の値打ちは何でしょうか
- 1月—産山村人権集会の報告
- 2月—いつになつたら解決するのか、北朝鮮による拉致問題

本年度は、7年に一度回ってくる「阿蘇郡人権同和教育研究大会」が産山村で開催されました。この大会には8月4日（日）、産山小中学校体育館をメイン会場に約1200人の参加者があり、講演や発表をもとにした活発な意見交換がありました。

例年その折りには、担当市町村議会の議員さんが発表することになっており、産山からは志賀英昭さんが「北朝鮮による拉致問題」を中心にした素晴らしい報告をされました。

様々な人権課題のうち、人権問題の中心課題である「同和問題」はもちろん、熊本県に関係の深い「水俣病問題」や「ハンセン病問題」については特に関心を持って頂きたいと思います。他県の人に意見を求められた時に、適切に答えられるよう日頃から学習を深めて頂ければ幸いに存じます。

4月から、26年度が始まります。新年度には、皆様方により分かりやすい内容になるよう努めていきたいと考えています。今後とも人権教育の推進にご理解・ご協力を頂きますよう、どうぞよろしくお願ひ致します。

阿蘇世界文化遺産リレーコラム ~守っていきたいわがまちの景観と人々~

コラム第18回 春を告げる風物詩「野焼き」 担当：南小国町

南小国町を含む阿蘇地域の草原では、毎年9～11月に草を刈って防火帯を作る「輪地切り」を行い、翌年の2月～3月に枯れた草を焼き払う「野焼き」が行われます。「野焼き」によって草原がリフレッシュされ、低木の侵入を防ぐことで藪や荒野となることを防いでいます。

古くからの文献によると、阿蘇地域では1,000年以上前から「野焼き」が続けられ、今のような草原が維持されてきたことが分かっています。阿蘇の草原は、牛馬の放牧地や草肥の供給源、観光資源等、時代によってその用途を変えながらも、人々と自然との共生により守り続けてきた世界的にも例のない「文化的景観」と言えます。

しかし、燃料・肥料としての草利用の減少や、「野焼き」を担う牧野組合・野焼きボランティアの高齢化、地域集落の過疎化等により、「野焼き」の維持が年々困難になっています。

そのため、南小国町を含む阿蘇地域では新たな取組みとして、野焼き後継者の育成や自衛隊OB等による急傾斜地の輪地切り、放棄地での野焼き再開等、新たな試みを進め、阿蘇地域の草原保全・再生を図っています。

◆次回のコラムは、小国町が担当します。

『世界遺産こぼれ話』Vol.9 -世界遺産と草原の保全・再生-

世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」では、草原をはじめとした「阿蘇の文化的景観」を保全するため、牧野組合、専門家、行政など官民一体となり設立された「草原再生協議会」により、上記のような野焼き支援に加え、募金活動やあか牛放牧、シンボジウム等、草原保全・再生の取組みが進められています。

また、熊本や福岡の経済界や報道機関、行政等のトップで構成される「阿蘇草原再生千年委員会」では、草原再生に向けた募金キャンペーンや気運醸成の取組みを九州全体で展開しています。

この取組みの結果、現在までに7,000万円以上の募金が集まり、草原保全・再生の様々な取組みに活用されています。



☆草原保全・再生の取組みについて
もっと知りたい方はコチラ↓↓
草原再生協議会 検索

熊本県子牛市場品種別セリ成績表（平成26年2月）

熊本県畜産農協阿蘇支所統計による

褐毛		○市場セリ日：平成26年2月5日(水)～7日(金)						
	性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢	
県市場平均	去勢	72	513,581	27,015	297	1,730	266	
	メス	86	451,390	16,818	275	1,642	281	
産山牛平均	去勢	1	547,050	51,975	308	1,776	289	
	メス	3	466,200	▲36,750	290	1,608	291	

黒毛		○市場セリ日：平成26年2月5日(水)～7日(金)						
	性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢	
県市場平均	去勢	376	572,328	5,532	290	1,977	278	
	メス	287	506,766	20,134	267	1,899	285	
産山牛平均	去勢	15	593,320	8,820	290	2,046	274	
	メス	5	486,150	▲5,512	244	1,992	285	

健康小話



産山村診療所
林田 来介 先生

ものすごい雪でした。皆さんのは被害等大丈夫だったでしょうか？

数名の方が転倒して頭部打撲等で来院されました。高齢者の場合「慢性硬膜下血腫」といって、約一ヶ月ほど経つてから、頭に血腫ができる歩けなくなることがあります。しばらくの間は注意が必要です。症状が出たら、手術が必要になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

も、大雪の中で一番元気だったの

は、やはり軽トラです。大型機械

を駆使して、自分たちで着々と雪

かきをされる村民の皆さんに、生

活力の強さを感じました。

冬当たりなば春遠からじ”、い

つもにも増して春が待ち遠しい今

ができます。しぶらの間は注意が必要

です。症状が出たら、手術が必要

になる場合があります。

雪道には、スタッドレストイヤ

があり役に立たないことが分か

りました。四輪駆動の往診車が大

活躍してくれました。それにして

国民年金からのお知らせ

●国民年金後納制度で将来の年金額を増やせます

後納制度は、過去10年間に納め忘れた保険料を納付することにより、将来の年金額を増やすことができるものです。

また、年金を受給できなかった方は後納制度を利用することで年金が受けられる場合があります。過去10年以内に納め忘れの保険料がある方は、ぜひ後納制度をご利用下さい。

なお、後納制度が利用できる期限は、平成27年9月30日までとなっています。お早めに申込み下さい。

●後納保険料の納付書の「使用期限」にご注意下さい

すでに後納制度を申し込まれた方で、平成16年4月以降分の後納保険料の納付がお済みでない方は、納付書に記載された使用期限（平成26年3月31日）までに納付をお願いします。

なお、使用期限までに納付できなかった方が、平成26年4月以降に納付を希望される場合は、新たな加算額による納付書を発行しますので、「国民年金保険料専用ダイヤル」またはお近くの年金事務所にご連絡下さい。

【ご注意】

○平成16年3月以前の後納保険料は、10年を超えるため平成26年4月以降は納付できません。

●後納制度の申込み・納付書の再発行のお問合せは

国民年金保険料専用ダイヤル（ナビダイヤル）

0570-011-050

050から始まる電話でおかけになる場合は

03-6731-2015

<受付時間> 月曜日 午前8:30～午後7:00

火～金曜日 午前8:30～午後5:15

第2土曜日 午前9:30～午後4:00

※お問合せの際は、基礎年金番号が分かるものをご用意下さい。

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7:00まで相談をお受けします。

※祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～1月3日はご利用頂けません。

※ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は、全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

ただし、一般の固定電話以外（携帯電話等）からおかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。

※「03-6731-2015」の電話番号におかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。

※「0570」の最初の「0」を省略したり、市外局番をつけて間違い電話になっているケースが発生していますので、おかけ間違いにはご注意下さい。

くらしの 情報 3月

●役場電話番号
総務課 25-2211
企画振興課 25-2211
住民課 25-2212
経済建設課 25-2213
教育委員会 25-2214

「滞納整理を広域連携で強化します」

～併任徴収調印式～



調印式において連携強化を確認する市町村長

税金は皆さん安心して社会生活を送るための行政サービスを提供する大切な財源です。納税は国民の義務であり、本来自主的に納めなければならないものです。

しかし、再三の催告にもかかわらず滞納がなくならない現状は公平性の観点からもこのまま放置することはできません。

本年度に引き続き、26年度も阿蘇郡市7市町村で滞納徴収の強化を図る

目的で、それぞれの市町村と税務職員派遣の協定を2月4日に締結しました。これにより、各市町村が相互に税務職員を派遣し、税の徴収を行います。

今後、各市町村職員が産山村の徴収向上の為に、滞納者には捜索差押などの強化を図ります。

税金を滞納すると……

①督促

納期限までに納付されない場合、原則として20日以内に督促状を送付致します。

※督促手数料として100円が加算されます。

※納期からの日数により延滞金が加算されます。

②催告

督促しても納付されない場合、文書催告・電話催告・自宅訪問を行います。

③財産調査

官公署、金融機関、勤務先、取引先などに対して財産調査を行います。

④差押え

財産調査で把握した滞納者の財産（不動産・給与・預貯金・生命保険等）を差し押さえます。

学校給食 探検

お悔やみ申し上げます

- ・井野 慎子様 1月29日没
(大利日向)
- ・酒井 一憲様 2月2日没
(上竹の畠)
- ・荒毛ミチ子様 2月3日没
(中山鹿)
- ・大久保博愛様 2月7日没
(大利北向)
- ・井 博司様 2月22日没
(中山鹿)

■産山村人口の動き（2月28日現在）

男	856人
女	771人
合計	1,627人
世帯数	613戸
男 出生	0人
死亡	4人
転入	1名
転出	2名
女 出生	0人
死亡	2名
転入	3名
転出	1名

～感想～

《生徒》

- ・意外とおいしかったです。（多数）
- ・量が少なかったです。
- ・もう少し食べたい
- ・普段のカレーとあまりかわらなかった。
- ・具がたくさん入っていておいしかった。

《職員》

- ・少し粉っぽかったですけどおいしかった。
- ・温めもらっていたので、食べやすかったです。
- 冷えていたら、どうかな～？
- ・初めての経験で、このような体験をするのも大切だと思いました。
- ・久しぶりにかんぱんを食べました。おいしく改良されました。



8年生
牧 朱峰さん

最初はどういう味なのかな？と思っていたけど、具がたくさん入っていておいしかったです。



★アレルギー27品目不使用

えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生、あわび、いか、いくら、オレンジ、キウイ、牛肉、くるみ、サケ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、ぶた肉、ごま、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン、カシューナッツ



保育園での様子（モロッコ豆のフライ）



小学校での様子（パンプキンケーキ）

訂正とお詫び
「広報うぶやま2月号」裏表紙に掲載しました「毎週火曜日はくまモンおやつの日！」にて写真の説明文に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。



産山給食センター
栄養教諭
吉田あゆみ



子育て支援だより “たんぽぽ”

子育て支援センター
(うぶやま保育園内)
TEL25-2014



【3月のスケジュール表】

○印は子育て支援センターの開所日です。
午前8時30分より開所しています。

月	火	水	木	金	土
【育児・保健相談】 午前8時30分～午後1時30分 電話・来所相談随時できます。（秘密は厳守します）					
					1
3	4	5	6	7	8
○	○	○	○	○	
10	11	12	13	14	15
○	○	○	○	○	
17	18	19	20	21	22
○	○	○	○		春分の日
24	25	26	27	28	29
○	○	○			
31					



◎早いもので、子育て支援センターの1年間が終わろうとしています。今春、保育園に入園するお友達はあと少しでお別れですね。保育園と言う新しい世界で元気に大きく成長されることを願って見守っていきたいと思います。

1年間、色々な方に支えられ楽しく活動をすることができました。ご協力を頂き、本当にありがとうございました。

また、来年度も皆様のご意見を頂きながら楽しい支援センター「たんぽぽ」を目指していきたいと思います。
よろしくお願い致します。



節分祭に
参加しました！



色々なアイデアを活かし、紙皿で製作しました



うぶやま 議会だより

UBUYAMA
第72号

平成26年1月臨時会

発行 産山村議会 阿蘇郡産山村山鹿488-3
TEL 0967-25-2211 FAX 0967-25-2864
編集 産山村議会 広報特別委員会

平成26年第1回臨時会が、2月3日に開かれました。

補正予算案件2件、条例の一部改正案件2件、規約の一部変更案件1件、その他1件、人事案件1件が上程され、審議・可決されました。

◎平成25年度 一般会計の主な補正内容

- 農林水産業費・・・1,500千円（有害鳥獣駆除）
- 土木費・・・・・・・150千円
- 諸支出金・・・・・・・11,600千円

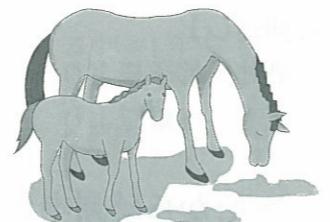
補正後の予算額・・・24億5,276万8,000円

- 診療所特別会計・・・・・・・2,700千円（人工呼吸器賃借料等）

補正後の診療所特別会計は、6,048万3,000円

条例の一部改正、規約の一部変更等

- 産山村特別職の非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 産山村診療所及び産山村歯科診療所設置条例の一部改正
- 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更
- 産山村公の施設に係る指定管理者の指定の進達
- 教育委員に城本俊成氏選任



●村民カレンダー

平成26年3月～平成26年4月

月日	曜	行事予定	ゴミ収集日	歯科診療所	診療所
3／5	水	公立高校後期入試（～6日）	○		
6	木	中山鹿サロン（13:30～）	○ ○		
7	金	3月定例会（～18日） 小学校授業参観・PTA総会 親子交通安全教室（うぶやま保育園）	可燃物	○	
8	土	産山中学校卒業式（10:00～） 小学校土曜授業			
9	日				
10	月	山鹿サロン（9:30～） 乙宮サロン（13:30～）	可燃物	○ ○	
11	火		ビン・カン	○	
12	水	海上自衛隊入隊者（航空学生）壮行会 公立高校合格発表		○	
13	木			○ ○	
14	金	中田尻サロン（10:00～）	可燃物	○	
15	土				
16	日				
17	月	南田尻サロン（10:00～）	可燃物	○ ○	
18	火		○		
19	水		リサイクル	○	
20	木	竹の畠サロン（10:00～）	可燃物	○ ○	
21	金				
22	土	うぶやま保育園卒園式（9:00～） 図書室開放日（10:00～15:00）			
23	日	阿蘇郡市合同公壇会（予定）			
24	月	産山小学校卒業式（10:00～）	可燃物	○ ○	
25	火	産山小・中学校修了式 産山サロン（13:30～） 農業委員会（予定）	ビン・カン	○	
26	水			○	
27	木			○ ○	
28	金	産山小・中学校退任式	可燃物	○	
29	土				
30	日				
31	月				
4／1	火			○	
2	水			○	
3	木			不燃物	○ ○
4	金	うぶやま保育園入園式（9:00～）	可燃物	○	
5	土				

◎上記の行事はあくまでも予定ですので、詳細については役場（担当課）までお尋ね下さい。

歌を掲載された方は役場企画振興課へ投稿して下さい。 ※一人一句のみとさせて頂きます。	広報うぶやまで俳句や短歌を披露しませんか？ 毎月広報うぶやまに掲載していくます「文芸のいすみ」へ、俳句や短歌を掲載して下さい。	酒井 平川 耐子	一喜一憂 ふと貰い泣き	ソチ五輪 夢の祭典 華開き	御湯船 関野 侃作	菜の花に ひのかげ たびら雪 冬の別れの 春の風凍む (たびら雪・春先に降るうすい雪)
-----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	----------	-------------	---------------	-----------	------------------------------------------------------------

わかれら学校応援隊

小中学校の活動を支援しています。

今月の投稿コーナー



年間をとおして学校田での米作りを支援して頂いています。



読み聞かせグループは今年は保育園にも支援の輪を広げました。



登下校の安全も見守っています



小・中学校のお茶摘み支援



お世話になった応援隊の方々にありがとうございます!

給食で感謝の意を伝えます。

学校支援地域本部事業とは

産山村では平成21年度より地域全体で子どもを育てる「学校支援地域本部事業」に取り組んでいます。

この事業では保護者をはじめとする地域の方々による学校支援の取組みを通して地域の連帯感の形成を図るとともに、学校と地域が互いに持つ教育機能を補完し、協力して子どもたちの「生きる力」を育んでいくことを目指しています。

学校の要望の把握と地域のサポート協力（学校支援ボランティア）の調整役を地域コーディネーターが担い、「学習支援」「体験活動の支援」「文化伝統継承活動」「安全・安心見守り活動」などといった部門で取組みをしています。

今回は、今年度行われた活動の一部の様子をご紹介します。!

ボランティア活動に少しでも関心がある方は学校または教育委員会までお問い合わせ下さい。